

大迫傑さん「Sugar Elite Kids」が開催されました

今年8月の東京五輪男子マラソンで6位に入賞した大迫傑さんおお さこ すぐるによる陸上イベント「Sugar Elite Kids」シュガーが9月25日(土)、土佐西南大規模公園を会場に開催され、小学校高学年から中学3年生まで計63名が参加しました。

このイベントは、大迫さんが現役引退後より全国10カ所をまわり、子どもたちに走ることにスキルや夢を達成するために大切なことを教えることで、子どもの人生をより豊かなものにしたと実施されました。

当日は、フィジカルレッスンとトークレッスンの2部構成。フィジカルレッスンでは、大迫さんが大会前の練習でも行っていたというウォーミングアップや、チームにわかれ1人ひとりが100～200mを走り、合計タイムが設定されたタイムにどれだけ近づくかを競い合いました。子どもたちが数名で走る距離を大迫さんは1人で走り、一緒に走った子どもたちは必死ながらも楽しそうな笑顔を見せていました。また、トークレッスンでは、「夢」をテーマに、「どんなことをしているのが楽しいか」「どんな夢につながるか」「夢を達成するためには何をしていたら良いか」などを大迫さん自身の経験を交えながら、子どもたちとともに考えました。

参加した生徒は、「夢に少しでも近づけるように目標を立てることの大切さがわかった」と感想を話しました。また、大迫さんは、「意欲的な子が多かった。黒潮町は綺麗な景色もあり、素敵な町でうらやましい。また帰って来たいと思うので、ぜひ参加してほしい」と子どもたちにメッセージを残してくれました。



設定タイムを一緒に体感



ウォーミングアップ



「夢」について問いかける大迫さん

上川口小・南郷小児童へ環境活動家・谷口たかひささんが講演

環境活動家として令和元年より全国で講演会などを行っている谷口たかひささんが9月17日(金)、上川口小学校4、6年生と南郷小学校6年生に向けて講演会を行いました。

今回の講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで実施。谷口さんからは、火事や嵐・大雨、氷河の融解といった環境問題の話に加え、自己肯定感の話などもありました。谷口さんは、「環境問題について、まだ詳しく知らない人が多いことが希望。みんなが知れば必ず変わる」などと話しました。

講演を聞いた上川口小学校5年生の山本雄貴ゆうきさんは、「生きてるだけで100点満点という言葉が

講演を聞く子どもたち

印象に残った。これはゴミを捨てたり、捨てないよいうにしたい」と話しました。

大方高校生が中学生に防災出前授業

大方高校地域創造コース2年生13名が10月1日(金)、大方中学校2年生34名に対し、防災をテーマにした出前授業を行いました。

中学生は、高校生の防災活動の紹介や、「未来へのメモワール」についての説明を聞いた後、災害から守りたいもの、大切にしたい思い出、それらを守るためにどうすれば良いのかを考えました。

高校生は、大事にしたいものは何か、どう守れば良いのかと悩む中学生に自分の考えを交えながらアドバイスをしていました。

授業を行った大方高校の西久保ひさほ咲さきさんは「自分の想像以上に、中学生1人ひとりが自分の残したいものを考えていて驚いた。いろいろな人の意見が聞けるので、またやりたい」と話しました。

活動の紹介を行う高校生

10月4日(月)には、佐賀中学校でも出前授業が行われました。